

## 2020年1月8日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- ソレイマニ司令官殺害の影響・ウクライナ機の撃墜・ブシェール原発 -

<https://youtu.be/TVadFYmhYEK>

昨夜のアメリカの出来事について、とても短いアップデートから始めます。ここフィリピンでは、すでに朝でした。ご存じのように、カセム・ソレイマニの埋葬があり、そこに大群衆が殺到して、80人以上が、その埋葬地での混乱の中で殺害されました。イランは自分たちの面目を保ち、そして復讐を要求する人々をなだめるための手段があるはずだと決断したのです。信じられないかもしれませんが、彼らはイラクとの国境にある南部の州の一つを利用して、イランの空軍基地から数発のミサイルを発射しました。イランからです。彼らは、米軍基地があるイラクの領土に向かって弾道ミサイルを発射しました。落下したミサイルのうち、10発がバグダッド北部のアル・アサドと呼ばれる米軍基地の中に落ちました。そして1発がアルビールに落ち、4発は完全に標的を逃したことが分かっています。それから、この2度の相次ぐミサイル発射の直後、イランは、アメリカ軍に多くの犠牲者が出たと報告しました。彼らは想像力を働かせて、最初は20人と報告しましたが、それから50人、そしていま、彼らはアメリカ人の犠牲者は80人だと言っています。

さて、実際には何が起こったのか、お伝えしましょう。イランは、まもなく攻撃することをイラク政府に通知しました。イラク政府は、アメリカにイランがまもなく攻撃してくることを通知し、そしてアメリカは、兵士たちにまもなく行われるこの攻撃のことを通知しました。したがって、だれもがそれらの場所で、飛んでくるミサイルに対して身構えました。そしてもちろん…、——まず第一に、犠牲者は出ませんでした。確保が間に合わなかった一部の機器が損傷しましたが、それだけです。みなさん、それはすべて大失敗で、すべてジョークです。これはすべて見せかけです。

皆さんに、もっとお話ししましょう。彼らがアメリカの民間人を殺した先週の攻撃は…、私が間違っていないければ、12月の終わりだったと思いますが、あの攻撃は今回の攻撃よりもずっと激しいものでした。あの襲撃には何の通知もありませんでした。あの襲撃は一人のアメリカ人を殺し、アメリカ兵を負傷させました。だから、昨夜、現実として起こったことは、実際にはもっと象徴的なものです。ところで、イスラエルでは、このように言われています。ソレイマニの殺害に対するイランの反応がこれくらいのものだと人々が知っていたら、ソレイマニはたぶんもっと早く殺されていただろう。私たちはそれくらい、イランの反応が単なる見せかけであったことを信じています。何よりも私の気に障るのは、米国のメディアが、米国の死傷者数に関して、イランの報道を引用し、それに関して、自国の軍からの報告が入るのを待たなかったという事実です。起こったことについて、すべて説明を受けたトランプ大統領がツイートするまで、少なくとも1時間はかかりました。「万事、問題なし。今のところは大丈夫だ。我々は損害を査定している」

(残念ながら、ライブビデオストリームがここで停止しました。その部分を編集カットして、再び始まった場所から再開します)

だから私がここで言おうとしているのは、これが全部、大げさに騒ぎ立てられたものだということです。これは全部、アメリカにおける無意味な弁論を煽るために意図的に誇張されました。ソレイマニに対するこの攻撃全体が、なぜ間違いだったのかについて。現実には、それは間違いでなかっただけではなく、イラン人は、いま非常に敗北感を味わい、混乱しています。皆さん、ひとつ言わせてください。アメリカは阻止力を回復しました。イランは昨夜、面目を保ったかもしれませんが、しかし、世界ナンバーワンのテロリストを失ったままです。さて、説明させてください。イスラエルはソレイマニが殺されたと聞いたとき、大きな安堵のため息をつきました。なぜでしょうか。イスラエル国家の短い歴史の中で、ソレイマニほどイスラエルの消滅に専念してきた人物はいませんでした。そして、イランのイスラム革命は、全体として、基本的に、現場

でそれをうまく進めるために、彼を請負人として使っていました。そこで、彼らは1999年に請負人、「総合請負人」として任命した人物を失いました。イスラエルをいかに破壊するか、シーア派のイスラムをいかにして広めるか、西洋文化をいかにして打ち破り、最終的にサウジアラビアを乗っ取り、シーア派を世界唯一のイスラムとして宣言するか。皆さん、それが昨夜の話です。それ（トランプ大統領のツイート）によって、その直後に、イランの外務大臣がツイートすることになったようです。「いいか、我々は国連憲章の権利に従って、やるべきことをやったんだ。我々に相応に反応する権利があって、もう大丈夫だ。だれもが『結構だ』と言っている」さて、もちろん民兵はこう言おうとするでしょう。「おい、我々は、我々の指揮官だったアル・モハンデスの殺害に復讐するぞ。だから、テヘランが我々に言っていることに耳を貸すつもりはない」テヘランは「まあ、彼らは攻撃をするつもりだが、彼らは我々の手には負えない」と言うでしょう。これはテロリストの手口なんです。彼らは、いつもそうしてきました。イスラムのジハードとハマスは、一方がミサイルを発射すると、もう一方が「オレは知らなかった」と言うような感じを受けます。私たちはそれを知っています。しかし皆さん、あれにはだれもが妥協できます。私に言えるのは、ただ、イランは今日、自らでは単独では行動できないことを理解し、力も能力もなく、ロシアのような大きな大きな超大国の後押しがなくては、何かをする力がないことを理解しています。

そして、また私が言えることは、皆さん、それでも足りないかというように、この最中にウクライナの旅客機、ウクライナ航空の737型機が、テヘランから離陸の直後、墜落しました。そして、イランはウクライナにブラックボックスを手渡すことを拒否しました。ウクライナ側は言っています。「私たちの737型機には何の問題もない。それは飛行に完全に適していた。問題はなかった」そして、イラン側は言いました。「誤作動があったんです。離陸時に技術的な問題がありました」もしそうならば、ブラックボックスを渡しなさい。どうなっているのか、私たちに確認させなさい。皆さん、イランはウクライナの旅客機の撃墜について、何かを隠すかもしれません。とても興味深いのですが、私はこう言います。何が起こったのかを理解したければ、乗客名簿を見て、飛行機にだれが乗っていたのかを見てください。それが問題解決に役立つかもしれません。

それでも不十分なら、マグニチュード4.5の地震が、ブシェール原子力発電所を襲いました。そして彼らは今、被害を調査している最中です。でも聞いてください。そこで地震が起こるのは2週間以内で2回目です。イランは、とにかく…、つまり、彼らは最愛の司令官を失った後、人々が殺到して惨事となりました。それに、あの攻撃はジョークでした。今度は、旅客機がテヘランのすぐ外に墜落しました。イランによって撃墜されたのかもしれない（後日、撃墜したことが判明しました）、彼らはそれを隠そうとしているのかもしれない。それから2週間で2度目の地震です。彼らは、これらすべてのことがどこから自分たちに襲ってくるのかさえ知りません。では、こう言ったらどうでしょう。「イスラエルを守る方は、まどろむこともなく、眠ることもない」そして、私は皆さんにこう言うことができます。イスラエルを全滅させようとする意図について語れば語るほど、彼らはますます苦しみます。

さて、すべてのことをお伝えできていたらいいなと思いますが、私がイランのことに関して、あまり心配していないことを理解してもらえたらいいなと思います…。

(ライブビデオストリームが、ここで終了しました)



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.01.15 (Wed)